

平成 28 年度実施分マニフェストの外部評価結果

当市は、マニフェストに記載された施策に係る各部局の取り組みの達成度について、評価の透明性と客観性の向上を目的に、外部評価を実施しています。今回、池田市政 1 期目 4 年間の総括となる外部評価結果をまとめましたので公表します。

●評価結果 平均点 88.65

78.14 (25 年度) ⇒ 79.37 (26 年度) ⇒ 83.50 (27 年度) ⇒ 88.65 (28 年度)

●マニフェスト評価委員

委員長 宮内 孝 氏 (南九州大学人間発達学部教授)
副委員長 小山 大介氏 (宮崎大学テニュアトラック推進機構准教授)
委員 爲山 高志氏 (財)みやぎん経済研究所 (常務理事)

●参考：8 大項目にかかる委員の意見の一部と平均点

①安心安全なまちづくり (委員平均点数 90.00)

多くの事業が目標を達成。北消防署移転建設事業や自主防災組織の結成は、今後の取り組みをハード・ソフト両面から補強する重要な事業であり、高く評価できる。

②農林畜産業支援 (平均点数 88.33)

新規就農、担い手育成、6 次産業化などほとんどの事業で目標を達成。いずれの事業においても、担い手 (新規、後継者) の確保が課題であり、その有効な方策は所得向上では。

③地場産業支援 (平均点数 88.33)

中心市街地空き店舗対策事業や商店街振興イベント開催費補助金、地方創生加速化交付金事業において成果が生まれつつある。雇用創出の中核である新工業団地整備事業と企業立地促進奨励措置、企業誘致促進事業についてはこれまでの取り組みが大きな成果を上げている。

④人創りのための教育支援 (平均点数 88.67)

いずれの事業も着実に進展。学校運営協議会の取り組みは、学校教育の充実に寄与。今後、まちづくり協議会などの地域団体と学校運営協議会との連携した取り組みの在り方を検討すべき。

⑤スポーツ・文化活動支援 (平均点数 85.50)

スポーツ合宿誘致は、増加傾向にあり、宿泊先の確保と住民による公園利用とのバランスが重要。幼少期に本に親しむことが、その後の学ぶ姿勢に大きな影響を与えるので、本に親しむ環境づくりに関する事業が、より一層拡大することに期待。

⑥医療・福祉・子育て支援 (平均点数 89.00)

各種事業が、着実に成果を上げている。都城市郡医師会病院の移転で、救急搬送時間の短縮が実現。児童クラブなどのアフタースクールの環境整備が図られ、大きな成果を上げている。

⑦行財政改革 (平均点数 89.67)

職員定数適正化、財政運営の健全化など着実に成果を上げている。行政のスリム化を図る一方、まち協などの地域組織を中核とした市民の自立した取り組みがより活性化することを期待。

⑧新たな取り組み (平均点数 89.67)

ふるさと納税事業の成果は絶賛に値。その劇的な増加は、市内製品の販売額や都城市の PR 活動だけでなく、地元事業者にセーフティーネットを提供し、市財政にも大きく貢献。

【問い合わせ】 総合政策課 電話 23-7161